

宮崎民医連 奨学生会議の様子

○宮崎民医連奨学生会議、通称てのひら会とは？

まずてのひら会とは何か？

て(Tell)の(Know)ひ(Hear)ら(Learn)の頭文字を取ったもので、この情報誌の名前にもなっていますね。この会議では宮崎大学医学部に所属している宮崎民医連の奨学生と学習に興味を持ってくれた学生が毎月1回(第3月曜日)集まり(Tell)(Know)(Hear)(Learn)を行います。

会議には1年生～6年生までの学生が参加し多いときは10名以上の学生が参加します。学生の他に宮崎生協病院から医師や看護師、多職種の職員が参加し学生と一緒に学びを深めます。



会議では必ず近況報告から始まります。ここでは大学で学習中の事や試験の状況、実習の内容からプライベートなことまで自分の1か月に起こった出来事を報告します。「将来はこんな勉強をするのか!」「将来のためにこれをやればいいのか!」「それ面白そうだな、休日にやってみよう」など自由な空間ですが学生同士の結束を高めるためにはなくてはならない時間となっています。

近況報告後は学習企画を行います。

学習企画は、学生全員でそれぞれが学びを深めたいテーマを出し合い、先輩と後輩でチームを組んで決定したテーマについて研究し、担当月に報告、意見交換を行い全員で学びを深めていきます。先輩・後輩でチームを組むことで協力して物事に取り組んでいく力を養うことが出来ています。

2023年度では学生から下記のテーマで学習を行いたいと意見が出ました♪

- ・戦争と平和
- ・都会と地方どちらが幸せ?
- ・医療と行政
- ・SNSと精神病
- ・医療訴訟について

○会議が終わったら



会議が終わったらみんなで夕食を食べます。おいしいごはんを食べながら会話を楽しむ、これもなくてはならない時間です。お誕生日の人がいたらみんなで祝いもします! このように奨学生会議(てのひら会)では大学生活だけでは学べないもの、自分を高めてくれる仲間など多くのものを得ることが出来る貴重な時間です。今後も学習は広がっていきます。奨学生となり一緒に学びませんか?

第33回 人間らしく働くための

九州セミナー in宮崎

2023年11月18日、19日、宮崎市で、「性差別と人間らしく働く権利～ジェンダー平等社会を一緒に創ろう!～」をテーマに、第33回人間らしく働くための九州セミナー in 宮崎が開催され、現地、オンラインと併せて600名近くの参加を得て、盛大に開催することができました。「人間らしく働くための九州セミナー」(以下「九州セミナー」)は、1990年6月に働く人びとのいのちと健康を守る学習と交流の場として発足し、毎年九州各地で1泊2日のセミナーを開いてきました。昨今は新型コロナウイルスの感染拡大により延期やオンラインで実施してまいりましたが、第33回の今回は実に4年ぶりに九州・沖縄各県から現地に一堂に集い、かつオンラインでの視聴も併用する初めての方法での開催を成功させ、分科会も8つ設置し、大いに学習と交流を深めることができました。

1日目の水無田 airflowさんの記念講演『「居場所」のない男、『時間』がない女～時空の歪みを超えるために』私たちができることを考える～』では、先進国一高負担を強いられている母親の家事育児負担の軽減と男性の片働きモデル前提の職場慣行の見直し・家計負担の軽減をはかり、ケアワークを再編し、働き方・暮らし方を総合的に見直すことが提案されました。パネルディスカッション「ジェンダー平等社会を私たちの手に」では、5名のパネリストによって、家庭、職場、教育など各分野におけるジェンダー不平等の現状と背景、解消のための歴史的国際的取り組みや身近な実践例が紹介され、人権と平和を大切にする社会の実現にジェンダー平等が欠かせないことを確認しました。

2日目の角田由紀子さんの記念講演「職場におけるハラスメントジェンダー平等を阻むもの」では、性被害の告発に困難を強いられてきた歴史、制約されてきた闘いの手段、セクシャルハラスメントに象徴される女性に対する暴力を生み出す家長長制の影響と社会構造が示され、ハラスメントを根絶するためのILO190号条約の批准とジェンダー平等を求めることの重要性が示されました。

分科会報告は、九州・沖縄各地から66演題が寄せられ、「ハラスメントのない職場をめざして」「多様性を尊重できる職場づくり～性的マイノリティの視点から考える～」など8つの分科会に分かれて人間らしく働ける職場づくりや働く人々の健康を守る取り組みの経験を大いに交流しました。宮崎現地実行委員会は、今年2月の結成以降、3回の実行委員会で学習企画を持ち、テーマへの理解を深め、私たちの足元からジェンダー問題を考えるため「性差別・ジェンダー平等」アンケートを実施し、「準備過程を大切にする」「学び、調査し、行動する」九州セミナーの歴史を受け継ぎ、実践してきました。そして九州セミナー運動を歴史的に支えてきた団体はもとより、テーマに共感した幅広い個人・団体の参加と協力を得て、民主的な議論を重ね広報や運営でも創意工夫を凝らし、新たな風を吹き込みながら九州セミナー運動を大きく発展させました。

今回の宮崎セミナーの開催に向けてご支援ご協力をいただきました全ての皆様に心よりお礼申し上げます。

